

弁政連^{ニュース}NEWS

政治を動かす・未来を動かす

www.benseiren.jp

No. **83** APR
2026

2026年4月



インタビュー 平口洋法務大臣に聞く

国民の安全・安心の基盤となる 法務行政

就任おめでとうございます。就任から3か月が経ちましたが、法務大臣としての意気込みをお聞かせいただけますでしょうか。

就任後様々な課題に取り組んでいく中で、改めて法務行政の重要性について考えさせられています。国民の安全・安心、公平と言った諸点において、法務行政はその基盤をなしています。そして、法務行政においては、法の支配と基本的人権というその基礎となる原則をきちんと踏まえ、色々な課題に取り組んでいく必要があると改めて認識しているところです。

法務大臣として、重点的に取り組んでいきたいとお考えになっている課題は何でしょうか？

総理からは、法務大臣就任にあたって八つの課題をいただいております。

そのうち1点目「国民に身近で頼りがいのある司法の実現に向けた取組」、2点目「差別や虐待のない社会の実現を目指し、個別法によるきめ細かな人権救済」は、いずれも抽象的課題ではありますが、先ほども申し上げた法の支配と基本的人権の尊重の実現という大原則を踏まえ、総合的視点で法務行政の本質に常に思いを馳せながら、すべてに渡ってきちんと対応していかなければならないということであると認識しております。国民の人権救済について、法務省として一丸となって取り組んでいかなければならない、そのための体制を整備していかなければならないということですし、また外国人の問題もそうです。

特に留意している課題をいくつか述べますと、まず出入国在留管理業務の問題があります。現状における主な視点として、わが国国内の労働力不足の問題はきちんと認めた上で、育成就労という制度がしっかりと機能していくように体制を整備、運用していく必要があると考えます。

2028年度中の導入を目指しているJESTA、日本版ESTAとも呼ばれる日本の電子渡航認証制度ですが、かなり強力な制度になると考えております。しっかりと推進し、出入国管理の



2026年1月14日 法務大臣室にて

厳格化と上陸審査手続の円滑化の充実に取り組んでいきたいと考えています。

保護司法改正後の取組も直近で大きな課題であると考えています。2024年に大津で保護司が殺害された大変痛ましい事件も一つのきっかけとなり、制度の見直しが行われました。これから先も持続可能な制度なのか、民間に頼りすぎず行政が多くを担うべきではないのかという悩みがあります。一方、日本の伝統に根付いた良いところもあり、その狭間で揺れ動いているというのが正直なところ。いずれにせよ、より機能的な制度としていかなければならない問題ですので、そのための取組を進めていきたいと考えています。

外国人問題ですが、現状で駄目なところ、例えば退去強制が確定している人は直ぐに帰国させるようにしなければなりません。制度が決まっているのであればそのように運用するのが行政です。しかし一方で、わが国国内に居住する外国人は増加の一途をたどっています。お互いに生きていくため、互いの良いところを認め合い、衝突を避けるようにしていかなければなりません。

例えばムスリムの方々は宗教的に火葬はしない、そのためにできることは何か、といった問題です。

難しい課題ではありますが、具体的に取り組んでいきたいと考えています。

最後に弁護士や弁護士会へメッセージをお願いします。

弁護士会や弁護士の方々については、社会の基礎を作っていく大きな役割を担っているパートナーであると評価させていただいておりますし、そのような取り組みについて努力していただきたいと考えております。

法務行政との協働という視点では、法テラスを通じて大いに取り組んでいかなければと思いますし、社会的影響力の大きな事件についても、弁護士会からもお考えを出していただいて、手を取り合って取り組んでいければと考えています。



平口洋法務大臣を囲んで。左から 伊井和彦(広報委員長)、小林元治理事長、小川晃司(編集長=聞き手)

ごあいさつ

日弁連新執行部と共に



日本弁護士政治連盟
理事長 小林 元治

今年、弁護士制度が発足して150周年を迎えました。そんな中、松田純一新会長、芳野直子新事務総長による日弁連の新たな執行部が誕生しました。

長引くウクライナ戦争、イスラエルガザ紛争、今年に入ってベネズエラ大統領の武力による拘束、そして、イスラエル、米国によるイラン攻撃と世界では数々の激動が生じています。国際連合を中心とする戦後の国際秩序が新たな局面を迎えており、法の支配といった普遍的な価値感の危機を覚えます。

弁政連は、日弁連が掲げる重要政策課題を弁護士・弁護士会と連携して、その実現をすることにより社会と会員のために貢献する活動をこれからも続けてまいります。2月19日には、弁政連主催で向春の集いを開催したところ100名を超える国会議員の方にご出席をいただきました。

民事法律扶助報酬、国選弁護報酬の増額、谷間世代の支援等日弁連の掲げる政策課題は法律と予算なくしては実現できないものが多く、立法府である国会議員のご理解は必須です。特に、今次の国会で議論となる刑事訴訟法の一部（再審法）改正は喫緊の課題であります。多くの国会議員により発足した再審法改正議員連盟による新たな議員立法が特別国会に提出され、法制審答申を基にした再審法案と並行して審理され、えん罪被害者の早期救済が図れることを求めたいと考えています。弁政連は全国の各支部と共に再審法改正はじめ多くの重要政策課題の実現に向けて更なる活動を展開してまいります。そのためにも一人でも多くの会員の理解を得て、更なる会員増強を図りたいと考えていますので引き続きのご理解とご支援をお願い申し上げます。

政策実現は 地方支部と本部の結集で！



日本弁護士連合会
会長 松田 純一

本年4月1日から2026年度・2027年度の日本弁護士連合会会長に就任いたしました松田純一です。

これまで弁政連企画委員会を通じて活動に携わってまいりましたが、菊地前理事長のもとでは、常務理事として全単位会での支部創立を目指す活動を見届けました。小林現理事長のもとでは、日弁連副会長として再審法改正に向け、全国の地方議会での機運が高まり、国会において超党派の議員連盟が形成される歩みを経験しました。溯上会長のもとでは、選択的夫婦別姓制度の実現が政局の影響を強く受け得ることを改めて認識いたしました。

再審法改正、選択的夫婦別姓にとどまらず、日弁連には、死刑廃止、いわゆる谷間世代に関連する基金、全面的少年付添人制度、取調べの可視化・立会い、オンライン接見の実現など、政策課題が山積しています。これらを実現に近づけるためには、弁政連本部から直接国会にアプローチする方法だけでなく、各地域からの声が地方議会や首長、あるいは選出国會議員を通じて国政に届くというルートが大きな効果を発揮することも少なくありません。地方支部と本部が力を合わせてこそ、運動は広がり、成果へとつながります。

日弁連は各種課題の前進に向けて取り組んでおり、弁政連本部ならびに地方支部の皆様には、引き続き力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。



2026年度 日本弁護士連合会副会長

氏名（所属弁護士会）／主な担当事項／抱負



石原 修

（東京弁護士会）

マネロン対策推進／
知的財産／国際交流

日弁連の政策を実現する
ため、弁政連と協力
して取り組みます。



岡 伸浩

（第一東京弁護士会）

司法制度／倒産法制／法
科大学院センター／財務

弁政連と協力し、日弁
連の課題解決に向けて
努力を尽くします。



水上 洋

（第二東京弁護士会）

国選弁護本部／
子どもの権利／研修

弁政連と連携して、日
弁連の政策課題に真摯
に取り組みます。



二川 裕之

（神奈川県弁護士会）

民事司法改革／法曹養成
制度／AI戦略／広報

弁護士法1条2項の下、
弁政連と協働し政策課
題実現に努めます。



吉澤 宏治

（山梨県弁護士会）

人権擁護／情報問題／秘密保
護法・共謀罪対策／業際・非弁

人権保障を巡る諸課題
に、弁政連と協力し、
取り組んで参ります。



中井 洋恵

（大阪弁護士会）

公設事務所・法律相談センター
／家事法制／行政問題／LAC

弁政連と強く連携し、
より良い司法を目指し
て頑張ります。



鈴木 治一

（京都弁護士会）

再審法改正／男女共同参画推進
／政府から独立した人権機関

弁政連のご協力を頂き、日
弁連の政策実現に共に尽力
していきたいと思ひます。



熊田 登与子

（愛知県弁護士会）

選択的夫婦別姓制度／高齢
者・障害者権利支援／ADR

弁政連の皆さんとともに、
日弁連の政策実現
に取り組みます。



長谷川 龍伸

（愛知県弁護士会）

司法修習／空襲等被害者
救済／法律サービス展開

弁政連の皆様とともに、
様々な課題に取り
組んでまいります。



池上 忍

（広島弁護士会）

司法修習費用／D&I／
労働法制

弁政連と連携・協働し、
日弁連の政策課題の実
現に取り組みます。



徳永 響

（福岡県弁護士会）

刑事弁護／取調べ可視
化／弁護士業務改革

弁政連とともに日弁連
の政策課題実現に取り
組みます。



高橋 金一

（福島県弁護士会）

総合法律支援／災害復興支
援／死刑廃止／国際人権

弁政連と連携し、様々
な政策課題に取り組ん
でいきたいと思ひます。



清水 智

（札幌弁護士会）

貧困問題／民暴／弁護士業務
妨害／若手弁護士サポート

弁政連と連携をしながら
日弁連の政策課題実
現に取り組みます。



大西 聡

（徳島弁護士会）

憲法問題／消費者問題
／弁護士任官

弁政連と連携し、日弁
連の諸課題の解決に向
けて尽力いたします。



中橋 紅美

（高知弁護士会）

公害／犯罪被害者支援
／教育法制改正問題

弁政連のご協力をいた
だきながら課題解決
に取り組んで参ります。



向春の集い



平口 洋
法務大臣（自由民主党）



片山 大介
参議院議員（日本維新の会）



階 猛
中道改革連合幹事長



玉木 雄一郎
国民民主党代表



柴山 昌彦
衆議院議員（自由民主党）



竹谷 とし子
公明党代表

国会議員との向春の集い、盛大に開催

2026年2月19日、都市センターホテル（東京都千代田区平河町）において、国会議員を招いた「向春の集い」が開催された。恒例の新年祝賀会に代えて企画準備していた会合であり、結果的に、第51回衆議院議員選挙の結果を踏まえた特別国会の召集日の翌日の開催となった。

当日は、副大臣及び大臣政務官の認証式の日程と重なる中、該当者を含めて107名の国会議員の出席（衆参あわせて本人出席62名、代理出席45名）を得ることができ、日本弁護士連合会の役員や全国の弁護士会会長を含む多くの会員とともに大変に賑やかに開催された。

平口洋法務大臣、林芳正総務大臣、城内実日本成長戦略担当大臣を始めとする政府要職に就任している多くの国会議員に出席いただいた。また、玉木雄一郎国民民主党代表、竹谷とし子公明党代表、福島みずほ社会民主党党首、階猛中道改革連合幹事長、古川元久国民民主党代表代行、逢沢一郎自由民主党総務会長代行、など各政党の要職にある国会議員にも多く出席いただき、ご挨拶いただいた。世耕弘成元経済産業大臣、山下貴司元法務大臣、稲田朋美元防衛大臣、柴山昌彦元文部科学大臣、平将明元デジタル担当大臣など多くの閣僚経験国会議員からも挨拶をいただき、再審法改正問題、谷間世代の支援など日本弁護士連合会が掲げる施策の実現に向けて多くの励ましの声や有意義な示唆をいただいた。

（副幹事長 奥 国範）

出席議員（本人出席太字）選挙区・所属政党

=2026年2月19日 向春の集い=

衆議院議員

逢沢 一郎	岡山1区	自民
秋葉 賢也	比例東北	自民
浅野 哲	茨城5区	国民
阿部 圭史	兵庫2区	維新
伊佐 進一	比例近畿	中道
石田 真敏	比例近畿	中道
石原 正敬	三重3区	自民
稲田 朋美	福井1区	自民
井野 俊郎	群馬2区	自民
英利アルフィヤ	千葉5区	自民
大空 幸星	東京15区	自民
長田 紘一郎	比例東海	自民
小田原 潔	東京21区	自民
落合 貴之	比例東京	中道
鬼木 誠	福岡2区	自民
勝目 康	京都1区	自民
金子 恵美	比例東北	中道
金村 龍那	比例南関東	維新
城内 実	静岡7区	自民
菊田真紀子	比例北陸信越	中道
岸田 文雄	広島1区	自民
北神 圭朗	京都4区	自民
國重 徹	比例近畿	中道
栗原 渉	福岡5区	中道
輿水 恵一	比例北関東	中道
後藤 茂之	長野4区	自民
小林 鷹之	千葉2区	自民
佐藤 英道	比例北海道	中道
塩崎 彰久	愛媛1区	自民
階 猛	岩手1区	中道
柴山 昌彦	埼玉8区	自民
菅原 一秀	東京9区	自民
鈴木 貴子	北海道7区	自民
世耕 弘成	和歌山2区	所属なし
平 将明	東京4区	自民

田嶋 要	比例南関東	中道
田中 和徳	神奈川10区	自民
棚橋 泰文	岐阜2区	自民
玉木 雄一郎	香川2区	国民
津島 淳	青森1区	自民
寺田 稔	比例中国	自民
長沢 興祐	東京29区	自民
中曾根 康隆	群馬1区	自民
中西 健治	神奈川3区	自民
中野 洋昌	比例近畿	中道
畑野 君枝	比例南関東	中共
濱地 雅一	比例九州	中道
林 芳正	山口3区	自民
日野 紗里	愛知7区	国民
平口 洋	広島2区	自民
古川 元久	愛知2区	国民
古川 禎久	宮崎3区	自民
細野 豪志	静岡5区	自民
本田 太郎	京都5区	自民
丸尾 なつ子	神奈川1区	自民
村岡 敏英	秋田3区	国民
茂木 敏充	栃木5区	自民
盛山 正仁	兵庫1区	自民
森 ようすけ	比例東京	国民
保岡 宏武	比例九州	自民
山下 香苗	岡比例近畿	中道
若林 健太	長野1区	自民

参議院議員

浅尾 慶一郎	神奈川	自民
猪口 邦子	千葉	自民
大家 敏志	福岡	自民
奥村 祥大	東京	国民
加田 裕之	兵庫	自民
片山 大介	兵庫	自民
嘉田 由紀子	比	例 維新

加藤 明良	茨城	自民
藤合 孝典	比東山	自民
川村 雄大	比茨城	自民
北村 経夫	比茨城	自民
小池 晃祐	比茨城	自民
上月 良祐	比茨城	自民
古賀 玄士	比茨城	自民
古庄 知之	比茨城	自民
小西 洋之	比茨城	自民
こやり 隆史	比茨城	自民
櫻井 充	比茨城	自民
佐々木 雅文	比茨城	自民
里見 隆治	比茨城	自民
塩村 あやか	比茨城	自民
清水 真人	比茨城	自民
杉 久武	比茨城	自民
鈴木 大地	比茨城	自民
高橋 光男	比茨城	自民
竹谷 とし子	比茨城	自民
田島 麻衣子	比茨城	自民
谷合 正明	比茨城	自民
堂込 麻紀子	比茨城	自民
仁比 聡平	比茨城	自民
広田 一	比茨城	自民
福島 みずほ	比茨城	自民
古川 俊治	比茨城	自民
舞立 昇治	比茨城	自民
牧山 ひろえ	比茨城	自民
松村 祥史	比茨城	自民
三上 えり	比茨城	自民
水岡 俊一	比茨城	自民
宮本 和宏	比茨城	自民
横山 信一	比茨城	自民
脇 雅昭	比茨城	自民

(敬称略・五十音順)

祝電・メッセージをいただいた議員

衆議院議員 牧島かれん 神奈川17区 自民

参議院議員 朝日健太郎 東京都 自民 泉 房穂 兵庫 県 所属なし

(敬称略)



第51回衆議院議員選挙（2026年2月8日施行）

弁政連が推薦し 当選された 衆議院議員の方々

氏名
所属政党
選挙区

政党名は2026年2月8日現在



逢沢 一郎
自由民主党
岡山1区



赤羽 一嘉
中道改革連合
比例近畿



秋葉 賢也
自由民主党
比例東北



浅野 哲
国民民主党
茨城5区



伊佐 進一
中道改革連合
比例近畿



石井 啓一
中道改革連合
比例北関東



石田 真敏
自由民主党
比例近畿



石原 正敬
自由民主党
三重3区



泉 健太
中道改革連合
京都3区



井出 庸生
自由民主党
長野3区



伊藤信太郎
自由民主党
比例東北



稲田 朋美
自由民主党
福井1区



井野 俊郎
自由民主党
群馬2区



井林 辰憲
自由民主党
静岡2区



岩屋 毅
自由民主党
大分3区



浮島 智子
中道改革連合
比例北海道



英利アルフィヤ
自由民主党
千葉5区



大塚 拓
自由民主党
埼玉9区



岡野 純子
国民民主党
比例南関東



岡本 三成
中道改革連合
比例東京



落合 貴之
中道改革連合
比例東京



鬼木 誠
自由民主党
福岡2区



小野寺五典
自由民主党
宮城5区



小淵 優子
自由民主党
群馬5区



勝俣 孝明
自由民主党
静岡6区



勝目 康
自由民主党
京都1区



門山 宏哲
自由民主党
千葉1区



金子 恵美
中道改革連合
比例東北



金子 恭之
自由民主党
熊本4区



上川 陽子
自由民主党
静岡1区



河野 義博
中道改革連合
比例九州



神田 潤一
自由民主党
青森2区



城内 実
自由民主党
静岡7区



菊田真紀子
中道改革連合
比例北陸信越



岸田 文雄
自由民主党
広島1区



北神 圭朗
自由民主党
京都4区



木原 稔
自由民主党
熊本1区



國重 徹
中道改革連合
比例近畿



小泉進次郎
自由民主党
神奈川11区



河野 太郎
自由民主党
神奈川15区



高村 正大
自由民主党
山口 1 区



古賀 篤
自由民主党
福岡 3 区



輿水 恵一
中道改革連合
比例北関東



後藤 茂之
自由民主党
長野 4 区



小林 鷹之
自由民主党
千葉 2 区



小森 卓郎
自由民主党
石川 1 区



近藤 和也
中道改革連合
比例北陸信越



斉藤 鉄夫
中道改革連合
比例中国



坂本 哲志
自由民主党
熊本 3 区



笹川 博義
自由民主党
群馬 3 区



佐々木 紀
自由民主党
石川 2 区



佐藤 英道
中道改革連合
比例北海道



塩川 鉄也
日本共産党
比例北関東



塩崎 彰久
自由民主党
愛媛 1 区



階 猛
中道改革連合
岩手 1 区



柴山 昌彦
自由民主党
埼玉 8 区



下村 博文
自由民主党
東京11区



庄子 賢一
中道改革連合
比例東北



鈴木 英敬
自由民主党
三重 4 区



鈴木 馨祐
自由民主党
神奈川 7 区



鈴木 貴子
自由民主党
北海道 7 区



世耕 弘成
無所属
和歌山 2 区



平 将明
自由民主党
東京 4 区



高市 早苗
自由民主党
奈良 2 区



田嶋 要
中道改革連合
比例南関東



田所 嘉徳
自由民主党
茨城 1 区



田中 和徳
自由民主党
神奈川10区



田中 健
国民民主党
比例東海



棚橋 泰文
自由民主党
岐阜 2 区



谷 公一
自由民主党
兵庫 5 区



玉木雄一郎
国民民主党
香川 2 区



田村 憲久
自由民主党
三重 1 区



津島 淳
自由民主党
青森 1 区



寺田 稔
自由民主党
比例中国



土井 亨
自由民主党
宮城 1 区



中川 貴元
自由民主党
比例東海



中川 康洋
中道改革連合
比例東海



中曽根康隆
自由民主党
群馬 1 区



長妻 昭
中道改革連合
比例東京



長友 慎治
国民民主党
宮崎 2 区



中西 健治
自由民主党
神奈川 3 区



中野 洋昌
中道改革連合
比例近畿



仁木 博文
自由民主党
徳島 1 区



西野 太亮
自由民主党
熊本 2 区



西村智奈美
中道改革連合
比例北陸信越



額賀福志郎
自由民主党
茨城 2 区



根本 拓
自由民主党
福島 2 区



野田 聖子
自由民主党
岐阜 1 区



橋本 岳
自由民主党
岡山 4 区



畑野 君枝
日本共産党
比例南関東



葉梨 康弘
自由民主党
茨城 3 区



濱地 雅一
中道改革連合
比例九州



林 芳正
自由民主党
山口 3 区



平口 洋
自由民主党
広島 2 区



平沢 勝栄
自由民主党
東京17区



深澤 陽一
自由民主党
静岡 4 区



福田 達夫
自由民主党
群馬 4 区



藤田 文武
日本維新の会
大阪12区



藤原 崇
自由民主党
岩手 3 区



古川 元久
国民民主党
愛知 2 区



古川 禎久
自由民主党
宮崎 3 区



細野 豪志
自由民主党
静岡 5 区



本田 太郎
自由民主党
京都 5 区



前原 誠司
日本維新の会
京都 2 区



牧島かれん
自由民主党
神奈川17区



松島みどり
自由民主党
東京14区



松本 泉
自由民主党
千葉 8 区



丸尾なつ子
自由民主党
神奈川 1 区



三谷 英弘
自由民主党
神奈川 8 区



宮崎 政久
自由民主党
沖縄 2 区



宮下 一郎
自由民主党
長野 5 区



武藤 容治
自由民主党
岐阜 3 区



茂木 敏充
自由民主党
栃木 5 区



森 英介
自由民主党
千葉11区



盛山 正仁
自由民主党
兵庫 1 区



保岡 宏武
自由民主党
比例九州



山下 貴司
自由民主党
岡山 2 区



山本 香苗
中道改革連合
比例近畿



若林 健太
自由民主党
長野 1 区



早稲田ゆき
中道改革連合
比例南関東



渡辺 創
中道改革連合
宮崎 1 区

敬称略
五十音順

全国支部懇談会開催される

2026年2月19日、都市センターホテル（東京都千代田区平河町）にて、向春の集いの開催に先立ち、全国支部懇談会が開催された。

当日は、冒頭、直近の衆議院選挙結果による政治情勢をふまえて、小林元治理事長から挨拶がなされたあと、法制審議会刑事法（再審関係）部会委員の村山浩昭弁護士から、再審法改正の関係で、現行制度の問題点や法改正論議の最新の情勢等について説明を頂いた。

その後、2025年度の各地での支部懇談会の概要について、本部より資料にもとづき報告するとともに、当日の各支部からの出席者を中心に、各支部の同年度の活動状況、組織強化のための試み等が説明された。あわせて、出席者より、本部や他支部に対する質疑がなされ、昨今の情勢もふまえた意見交換等が、活発に行われた。

また、司法書士法改正問題に関しても、日弁連担当次長より、最前線の情勢が伝えられ、弁政連本部より、引き続きの対応協力が呼びかけられた。

（幹事長 道 あゆみ）



三雲たかまさ東京都議会議員との懇親会

2026年2月13日に、日本弁護士政治連盟東京本部が先の東京都議会議員選挙にて推薦した三雲崇正（みくもたかまさ）都議会議員（立憲民主党）と懇親会を実施しました。12名の弁護士が参加され、熱い議論を交わしました。

当日は、まず、三宅弘日本弁護士政治連盟企画委員会委員長から、挨拶がなされ、その後、三雲都議から、①法曹・政治家を志した経緯、②ご自身の政策とこれまでの政治活動、③東京都議会での仕事、④東京都の課題というテーマでご講話をいただきました。特に、自身の祖先が関与した戦国時代の裁判の資料を用いた当時の裁判やその意義についてのご説明や、与党・野党の議員の立ち位置についてのお話や、議員同士がどのように日常的な政治課題にどのように解決していくのかという点は印象に残りました。

講話後は、参加者からの質疑に対して、都議からも丁寧に回答がなされました。

最後に、山岸良太日本弁護士政治連盟副理事長の挨拶がなされ閉会となりました。

今回の懇親会は、参加者からの活発な質問もなされ、参加者及び都議、双方にとって、充実した貴重な時間となったと思いますので、今後も継続的に交流会を実施していきたいです。

（企画委員会副委員長 中西 哲男）



「高岡愛」所属の市議、県議、高岡市長と意見交換会を実施しました 富山県支部活動報告

令和7年12月2日、高岡市内において、出町高岡市長、嶋川武秀富山県議会議員、林貴文、福井直樹、熊木義城の各高岡市議会議員（会派「高岡愛」所属）と意見交換会及び懇親会を開催しました。

当支部からは、片岡長司（県弁護士会会長）、本田隆慎副支部長、大原弘之、中村あずさ、山本毅、吉川美保（敬称略）及び梶智史が参加しました。

意見交換会では、片岡会長から、日弁連の取り組みとして、①再審法、②選択制夫婦別姓、③司法書士法改正、④震災復興等について説明がなされ、議員からも質問がなされました。

その後の懇親会では、上記のトピックに限らず、弁護士の一般的な業務についての話題や、自治会主導の現状の地方選挙のあり方の是非といった話題、また、具体的な業務内容（例えば、後見、教育現場における対応等）について、自治体や議員との協働の可能性等について協議されました。

21時過ぎに散会となりましたが、嶋川議員、福井議員から、お互いに敷居が高いように思っており、これまでこのような会合が開催されることがなかったが、実施してみれば色々な話ができたとのご意見を頂戴しました。

今後も、高岡に限らず、他市の議員との意見交換会も企画したいと考えております。

（富山県支部監事 梶 智史）



本部・支部人事（ ）内は前任者

2026年3月19日付
理事 田中 利武（井田 雅貴） 3月31日付（退任）
常務理事 中井 洋恵
笠間 善裕（高橋 金一） 理事 二川 裕之

4月1日付
副理事長 鈴木 善和（矢吹 公敏）
常務理事 志賀 剛一（石原 修）
常務理事 彦坂 浩一（松田 純一）
常務理事 相川 泰男（仲 隆）
理事 辻 泰弘（安永 恵子）

大分県支部 2026年3月1日付 福島県支部 3月1日付
支部長 田中 利武（井田 雅貴） 支部長 笠間 善裕（高橋 金一）

佐賀県支部 4月1日付
幹事長 辻 泰弘（安永 恵子）

定期総会のご案内

日本弁護士政治連盟の定期総会を下記のとおり開催しますので、ご案内します。

記

- 1 日時 2026年5月12日(火)午後4時から
- 2 場所 弁護士会館2階 講堂「クレオ」
- 3 議題 (1)2025年度活動報告の件
(2)2026年度事業活動方針に関する件
(3)一定の事由に基づく理事の選任を理事会に委任する件

なお、やむを得ない事由により開催の日時、場所等を変更する場合には、本連盟サイト上でお知らせします。

編集後記

新日弁連執行部と共に国会に我々の政策を！（いい）
憲法9条の大切さをかみしめています（いしい）
世界がきな臭い。法の支配は守れるか（あんどう）

今年もまた暑くなりそうです。ご自愛を。（おがわ）
当たり前のことが当たり前であってほしい（こだいら）